

## 1-4 北海道地方の上下変動

### Vertical Movements in the Hokkaido District

国土地理院  
Geographical Survey Institute

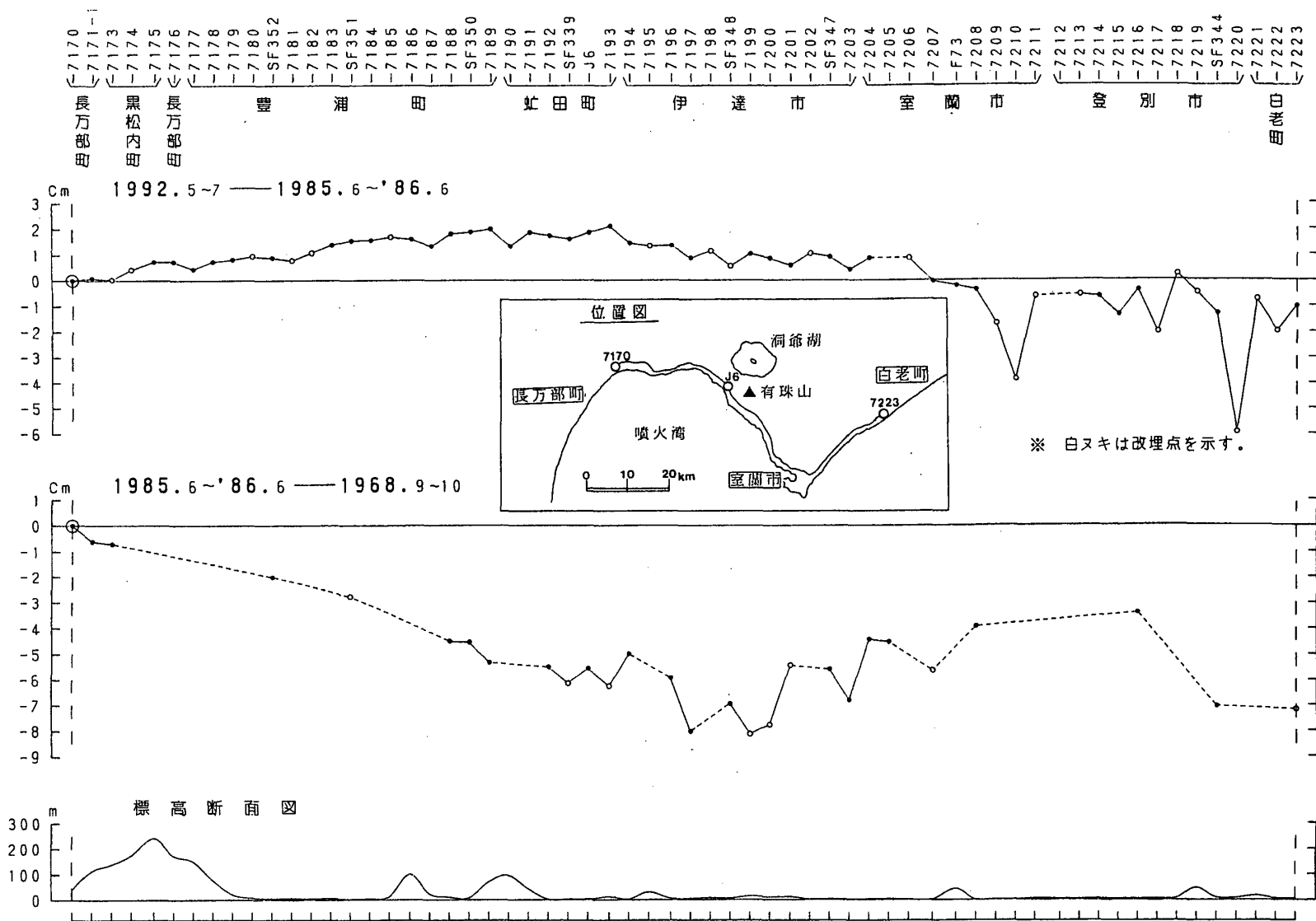
北海道南部で実施した水準測量，及び太平洋沿岸の月平均潮位差の結果を報告する。

第1図は，長万部町から白老町に至る水準測量の結果である。前回は，虻田町から伊達，室蘭にかけて6～8 cm沈下していたが，今回は豊浦町から虻田町にかけて約2 cm隆起している。有珠山は，水準点J6～7195の北東方向約4～5 kmに位置するが，今回の測量期間内には特に大きな火山活動はなかった。

第2図は，浦河，室蘭，十勝港，花咲，及び釧路の各験潮場間の月平均潮位差の結果である。最近，月平均潮位差の結果から浦河の隆起が認められ，現在も継続している。'91年後半から'92年前半にかけて花咲及び釧路において海流等の影響によるものと思われる潮位の異常が見られたが，その後は平常にもどっている。

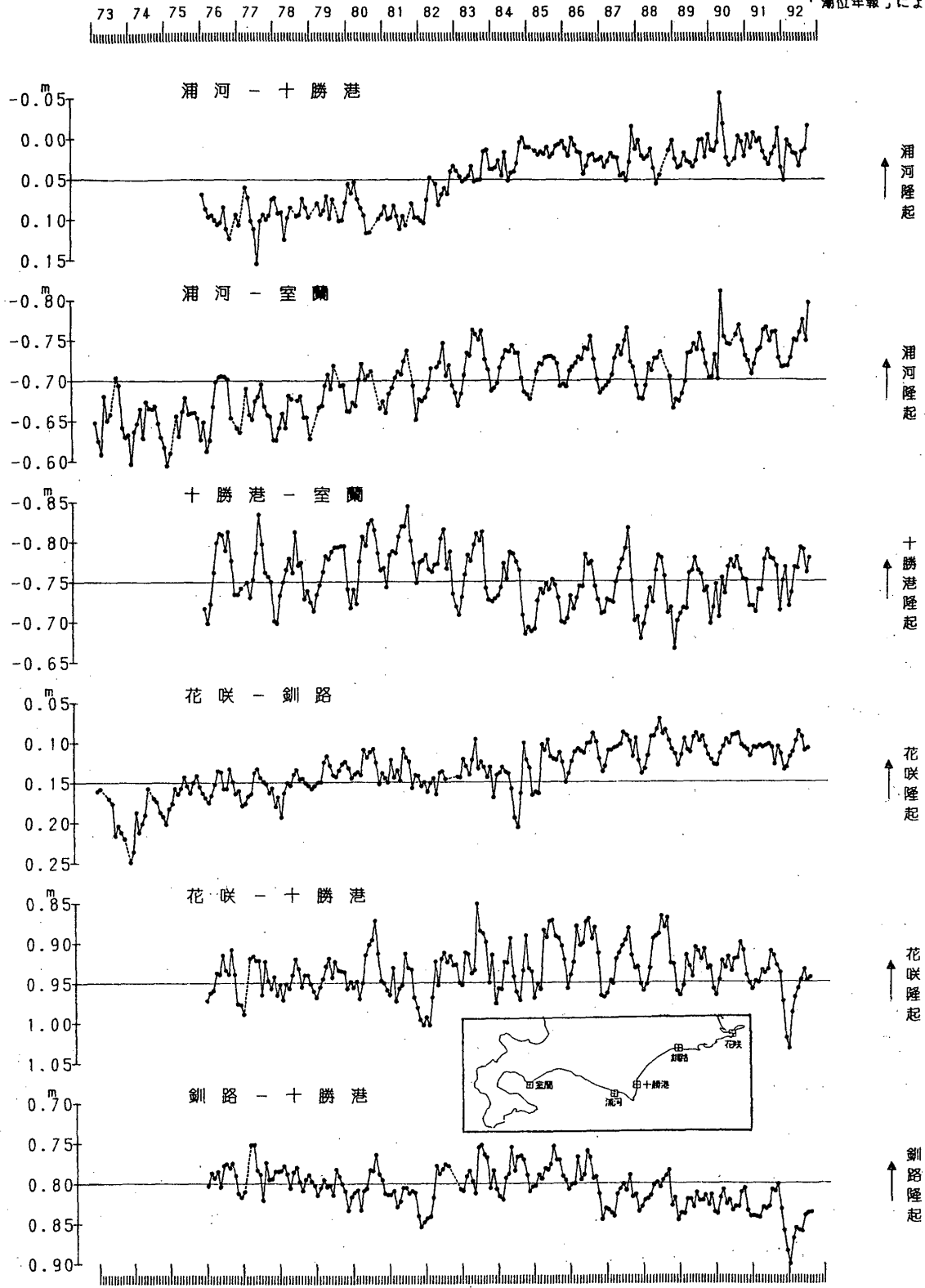
#### 参 考 文 献

- 1) 国土地理院：北海道胆振地方の上下変動，連絡会報，35（1986），12-15.
- 2) 国土地理院：北海道地方の上下変動，連絡会報，37（1987），8-21.
- 3) 国土地理院：北海道地方の地殻変動，連絡会報，48（1992），22-27.



第1図 長万部～白老間の上下変動

Fig. 1 Level changes along the route from Oshamanbe to Shiraoi.



第2図 浦河，室蘭，十勝港，花咲，釧路各験潮場間の月平均潮位差

Fig. 2 Differences in monthly mean sea levels between the Urakawa, the Murooran, the Tokachiko, the Hanasaki and the Kushiro tide stations.